

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援工房 室見教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日 ~ 2026年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日 ~ 2026年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	会社主導で定期的に社内研修や、資格取得に向けた研修参加を行うことが出来ている事。	研修の時間を月・週ごとに策定して、どの職員も受けられるように工夫をしている。 教室数が多い分、様々な状況が想定され、経験をされているので、情報共有を積極的に行っている。	職員同士の交流を増やし、教室に還元する。
2	職員同士の仲が良く、分け隔てなく交流できているため、その雰囲気が生徒さんにも伝わり、比較的楽しい雰囲気の中サービスを受けることが出来る。	仕事の話だけではなく、それぞれの職員の好きな事や得意なことを話すことで、支援の際に生徒さんとのやり取りの中で色々な職員から色々な職員の話しが出てくるようにしている。	ミーティングで生徒さんの反応を共有し、次回に活かせるようにしている。
3	規律を重んじる雰囲気があるので、ダメなことはしっかりと指導して、その後のケアも含めて行うことが出来ている。	安全第一を踏まえた上で、生徒さん達が一人で社会に出た時に何に困るかを考えてフォローをしている。	ミーティングで生徒さんの反応を共有し、より良い支援方法を考え、次回に活かせるようにしている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の入職からの歴が浅く、新人が多い点。	職員の退職。	所長と職員の定期的な面談に加え、細かい話し合いを来る返す必要がある。さらに、研修を適宜行う事でスキルアップを行う。
2	集団でSSTなどの活動が出来ていない。	長期休暇中のプログラムの策定と実行が出来ていなかった。	SSTの担当者決めと、取り組み内容の具体化。
3	運動をさせてくれないかという要望に対応していない。	工場の強みの保護者への説明が不足している。	日々の記録や報告の中で、運動以外での成長を適切に報告する。